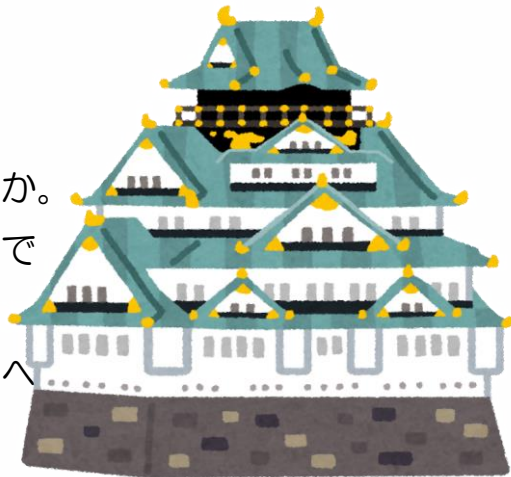


中世における 大阪の立ち位置

今年は大阪・関西万博が開催され、来年度の大河ドラマは豊臣兄弟と、なにかと大阪への機運の高まりが感じられるのではないのでしょうか。戦国時代において、大阪地域が日本全体のなかでどのように重要な地域であったのか理解し、豊臣時代を経て、江戸時代の大阪が天下の台所へ向かう歴史を語っていただきます。



◆日時◆ 令和7年 12月 12日（金）

午後1時30分～午後3時

◆講師◆ 仁木 宏 氏 （大阪公立大学 文学研究科 教授）

◆場所◆ 中央図書館（中央公民館 講座室）

◆定員◆ 30名（申込み先着順）

◆申込◆ 令和7年11月1日（土）午前10時から 中央図書館へ。電話可。

※ 火～金曜日は午前10時～午後8時（11/4は振替休館）

土・日・祝日は午前10時～午後6時まで

◆申込・問い合わせ◆ 中央図書館（本町16-28） TEL 25-4921

◎お願い：駐車台数が限られるため、公共の交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

◎申込みによって取得した個人情報は、講座の参加確認及び連絡以外には使用しません。

キリトリ

中世における大阪の立ち位置

受付日 /

氏名

電話

住所